

試合番号 : 252		試合会場 : 町田市立総合体育館				観客数 : 1,100	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:23		試合時間 : 01:23		主審 : 中山 健	
副審 : 村中 伸		FC東京		サントリーサンバーズ		通算 27勝 2敗	
通算 8勝 22敗		ポイント : 30		19 第1セット 25		通算 27勝 2敗	
<p><b>監督コメント</b></p> <p>サントリーのサーブに大きなプレッシャーを与えられ、レセプションが難しい状況に置かれた。また、アタック面でもサントリーの組織的なブロックに対し、数字が上がらなかった。ホームゲームで皆さまに喜んでもらえるよう、良い準備をして試合に臨み、勝利を目指します。本日も応援ありがとうございます。</p>		<p><b>0</b></p>		20 第2セット 25		<p><b>3</b></p> <p><b>監督コメント</b></p> <p>本日もたくさんのご声援ありがとうございます。FC東京のプレモビッチ選手の強打に最後まで対応できなかったのが、明日の試合までに修正することを一つの課題として取り組みたいと思います。選手は試合を重ねるたびに成長しています。良い雰囲気を作り、練習でもPlay Hardを実践してくれています。FC東京の粘り強いディフェンスを明日はどうやって打ち抜くか、そして相手の良い部分を吸収し更に進化していきたいと思えます。関東は未だ緊急事態宣言が解除されていない中、ホームゲームの準備は非常に大変だったと思います。本日にありがとうございます。今後も進化していくサンバーズを引き続きよろしくお願ひします。</p>	
				19 第3セット 25			
				第4セット			
				第5セット			
				22 第1セット 25			
23 第2セット 25		25 第3セット 18		22 第4セット 25		25 第5セット	
<p><b>要約レポート</b></p> <p>前回対戦ではフルセットの激戦となったFC東京とサントリーサンバーズの対戦。第1セット、サントリーは3シーズン目となりチームの顔にもなりつつあるムセルスキーを中心に攻撃を組み立て、その圧倒的な高さからのスパイク、強烈なジャンプサーブで得点する。FC東京はリベロ古賀が反応の速さとポジショニングの良さから素晴らしいレシーブを量産し、プレモビッチのスパイクへと繋げて対抗する。しかし、終始リードを保ち、中盤から抜け出したサントリーがセットを先取した。第2セット、落ちそうなボールを拾い、ここぞというスパイクをブロックで防ぎ、手に汗握る展開の連続となる。一進一退の攻防が続く中、終盤抜け出したのはサントリーだった。ラリー中での攻撃のバリエーションが多く、セッター大宅がトスをうまく振り分けセットを連取した。第3セット、サントリーはFC東京のレフト側からの攻撃をムセルスキーの高さで防ぎ、思うように決めさせない、柳田の速いバックアタックも決まり先行する。後がないFC東京はライト側のプレモビッチにボールを集め、18-18の場面で相手のミスで追いついたが、サントリーは柳田のブロック、ムセルスキーの2連続サービスエースで再び引き離す。最後は途中出場の小川がスパイクを決めた。サントリーは競った場面でも焦ることなく、終盤安定したプレーで首位の貴塚を見た試合となった。</p>							

試合番号 : 253		試合会場 : 三島市民体育館				観客数 : 612	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:51		試合時間 : 01:51		主審 : 高橋 宏明	
副審 : 澤 達大		東レアローズ		パナソニックパンサーズ		通算 25勝 6敗	
通算 13勝 15敗		ポイント : 37		22 第1セット 25		通算 25勝 6敗	
<p><b>監督コメント</b></p> <p>勝負所で1点をもぎ取れなかったことが敗因だったと思います。逆にパナソニックは、ここぞの場面での1点を取る力があると感じました。我々も、もう一つレベルアップするには、勝負所でしっかりと点を取れるチームになる必要があると思います。今日できなかったことをしっかりと修正し、明日に備えたいと思います。本日は足元が悪い中、たくさんのお声援ありがとうございます。</p>		<p><b>1</b></p>		23 第2セット 25		<p><b>3</b></p> <p><b>監督コメント</b></p> <p>ディグとブロックが沢山あって、今までの試合の中でもベストな試合だったと思います。第3セットは取られてしまいましたが、しっかりと切り替えて、メンタルの部分で上回ったと思います。今日勝てたことは嬉しいですが、明日もタフな試合があるのでしっかり準備をします。応援よろしくお願ひします。</p>	
				25 第3セット 18			
				22 第4セット 25			
				第5セット			
				22 第1セット 25			
23 第2セット 25		25 第3セット 18		22 第4セット 25		25 第5セット	
<p><b>要約レポート</b></p> <p>今季1勝1敗のパナソニックパンサーズと東レアローズの戦い。セットカウント3-1でパナソニックが勝利した。第1セット、序盤からパナソニックがクビクと清水のスパイクで得点を重ね、対する東は富田の安定したサーブレシーブからパダルのスパイクで一歩後を追う。終盤パナソニック山内が東レ・パダルの攻撃をブロックし、更にクイクを決めて一歩リードを広げると、そのままセットを先取した。第2セット、東レは高橋や李のクイクで攻撃のリズムが変わり、一歩リードを奪う。終盤、パナソニックは深津のブロックと清水のサービスエースで18-18の同点に追いつき、さらに小宮のクイク攻撃で流れを奪い返して逆転し、セットを連取した。第3セット、競り合った展開から東レがパナソニックの攻撃をレシーブし、富田のサービスエースや富松のブロックポイントでリードを広げる。東レは勢いを保ったまま所で星野がスパイクを決め、セットを奪い返した。第4セット、東レはパダルのサービスエースから勢いに乗り、序盤から一歩リードを奪う。パナソニックは清水がサーブで相手を崩し、久原が東レ・パダルのスパイクをブロックで封じて逆転し、反撃する東レを退けてセットを奪い勝利した。</p>							

試合番号 : 254		試合会場 : 堺市金岡公園体育館				観客数 : 468	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:57		試合時間 : 01:57		主審 : 小野 将人	
副審 : 原 啓之		堺ブレイザーズ		ジェイテクトSTINGS		通算 20勝 9敗	
通算 15勝 16敗		ポイント : 43		17 第1セット 25		通算 20勝 9敗	
<p><b>監督コメント</b></p> <p>我々のブロックは良く、展開としても悪くないセットも多かった。アウトサイドヒッターにはより良いプレーを求めたいところでもあり、第2、第4セットは我々にも十分にチャンスがあったが取り切れなかった。相手の西田選手のプレーは素晴らしい。ホームゲームでの沢山の応援ありがとうございます。明日は勝利を掴めるよう、チーム一丸となって戦います。</p>		<p><b>1</b></p>		25 第2セット 27		<p><b>3</b></p> <p><b>監督コメント</b></p> <p>第1セットは自分達のリズムで進めることができたが、第2セット以降はミスが増えたことでいいペースを作ることができませんでした。その中でもいいプレーが多く出たので、明日はもっといいプレーを出せるよう今から準備していきます。たくさんのお声援ありがとうございます。明日も引き続き、よろしくお願ひいたします。</p>	
				25 第3セット 19			
				22 第4セット 25			
				第5セット			
				17 第1セット 25			
25 第2セット 27		25 第3セット 19		22 第4セット 25		第5セット	
<p><b>要約レポート</b></p> <p>ファイナルステージ進出を目指す4位ジェイテクトSTINGSを迎えた堺ブレイザーズのホームゲーム。ジェイテクトは西田やフェリベの攻撃で得点を重ねる。堺は松本やジョンの攻撃で応戦するが、ジェイテクトの勢いを止めることができず、ジェイテクトが第1、第2セットを連取した。第3セット、後がない堺は鶴野のサーブでリズムに乗り流れを掴むと、松本、樋口のクイクが決まり、このセットをものにした。第4セットは一進一退の攻防となる。中盤、堺は鶴野の攻撃、関田と出木田のブロックで連続得点したが、終盤にジェイテクト西田の攻撃、伏見のブロックに阻まれ、逆転を許した。ジェイテクトが大事な一戦で勝利を手にした。</p>							

試合番号 : 255		試合会場 : 岩国市総合体育館				観客数 : 1,050	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:26		試合時間 : 02:26		主審 : 山本 晋五	
副審 : 千代延 靖夫		JTサンダーズ広島		ウルフドッグス名古屋		通算 22勝 7敗	
通算 14勝 17敗		ポイント : 44		21 第1セット 25		通算 22勝 7敗	
<p><b>監督コメント</b></p> <p>今季最後のホームゲーム、チーム全員で全力で戦いました。明日も厳しい試合になると思います。最後まであきらめない戦いを皆様にお届けできるようにチーム一丸となります。明日もご声援よろしくお願ひします。</p>		<p><b>2</b></p>		25 第2セット 22		<p><b>3</b></p> <p><b>監督コメント</b></p> <p>日々の練習の中で、レギュラーのメンバーだけでなく、チーム全員で質の高いプレーを意識して取り組んできました。試合では厳しい場面もありましたが、我々ウルフドッグス名古屋がやってきたことを明日の試合でも出せるように、これからしっかりと分析を行い、より良い準備をしていきたいと思えます。東日本大震災から10年が経ち、我々ウルフドッグス名古屋ができることは、バレーボールを通じて少しでも元氣や勇氣、そして感動を与えることです。皆様の安心と安全な生活を心よりお祈り申し上げます。Best Day Ever!</p>	
				25 第3セット 20			
				19 第4セット 25			
				13 第5セット 15			
				21 第1セット 25			
25 第2セット 22		25 第3セット 20		19 第4セット 25		13 第5セット 15	
<p><b>要約レポート</b></p> <p>連勝で勢いに乗り、岩国市で今季最後のホームゲームを迎えるJTサンダーズ広島と、現在3位のウルフドッグス名古屋の戦い。第1セット、JT広島はエドガ、陳を中心に攻撃を展開し、得点を重ねる。それに対し名古屋は山田のサーブと山近のブロックなどで、徐々に点差を広げ、終盤には高梨がブロックを弾き飛ばすアタックを決め、セットを先取した。第2セット、序盤から一進一退の白熱したラリーが続いた。中盤、JT広島は山本の強烈なサーブで相手を崩し、流れをつかんだ。名古屋はクレク、高梨の攻撃で反撃するも、点差を詰めることができず、JT広島がセットを奪い返した。第3セット、序盤にJT広島が小野のサーブとエドガ、安永のブロックでリードを広げた。中盤に入り、名古屋は交代で入った白岩の攻撃と高梨のサーブで、点差を縮めるも、最後はJT広島の陳がブロックを決め、セットを連取した。第4セット、中盤に名古屋はクレク、白岩の攻撃でリードを広げた。JT広島は安永、小野のセンター攻撃で応戦するも、追いつくことができず、名古屋がセットを取り返した。第5セット、終盤までもつれる白熱したゲーム展開となった。終盤に入り、名古屋はクレクにボールを集めて得点を重ね、最後は高梨がブロックを決め勝利した。</p>							

試合番号 : 256	試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)	観客数 : 1,096
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:50	試合時間 : 01:50
大分三好ヴァイセアドラー		通算 3勝 29敗 ポイント: 12
監督コメント		3
今シーズン初めてホームゲームで勝利をあげることができ、大変嬉しく思います。昨日の敗戦から、よく切り替えて勝利をもぎとってくれた選手を誇りに思います。特に新人の井口、山田は苦しい状況でもよく耐えて頑張ってくれたと思います。ホーム大分での大応援が力になりました。本当にありがとうございます。		1
要約レポート		VC長野トライデンツ
今季最後のホームゲームを勝利で飾りたい大分三好ヴァイセアドラーと敵地で連勝をあげたいVC長野トライデンツの対戦。第1セット、序盤から大分三好はストックトン、バグナス、山田の攻撃が効果的に決まるも、VC長野は戸嶋、リヴァンを軸に応戦する。大分三好は要所でサーブミスが響き追加点が奪えない。終盤、VC長野はリリーフサーバー波佐間のサービスエース、最後はリヴァンの攻撃が決まり、セットを先取した。第2セットも同様に拮抗したゲームとなった。序盤、大分三好はバグナスの効果的なサーブからセッター井口のブロックも飛び出し、引き離しにかかる。VC長野はリヴァン、戸嶋を軸とした攻撃で応戦するも、最後は大分三好・山田の攻撃が連続で決まり、セットを取り返した。第3セット、序盤から中盤まで大分三好はバグナス、山田、VC長野はリヴァンを軸とした壮絶な打ち合いとなる。終盤、大分三好はリリーフサーバー濱本の効果的なサーブで流れを掴み、最後は山田の攻撃でセットを連取した。第4セット、序盤にVC長野は戸嶋がサービスエースを決めるも、中盤に大分三好は山田の連続サービスエースで引き離しにかかる。VC長野はリヴァン、戸嶋を軸に踏みとどまるも、大分三好は川口が要所で攻撃を決める。終盤、またしても大分三好・山田の緩急をつけたサーブが連続で決まり、最後は山田のバックアタックが炸裂。大分三好は昨日の雪辱を果たし、ホーム最終戦で嬉しい勝利をもぎ取った。		VC長野はリヴァン、戸嶋を軸とした攻撃で応戦する。大分三好は要所でサーブミスが響き追加点が奪えない。終盤、VC長野はリヴァン、戸嶋を軸とした攻撃で応戦するも、最後は大分三好・山田の攻撃が連続で決まり、セットを取り返した。第3セット、序盤から中盤まで大分三好はバグナス、山田、VC長野はリヴァンを軸とした壮絶な打ち合いとなる。終盤、大分三好はリリーフサーバー濱本の効果的なサーブで流れを掴み、最後は山田の攻撃でセットを連取した。第4セット、序盤にVC長野は戸嶋がサービスエースを決めるも、中盤に大分三好は山田の連続サービスエースで引き離しにかかる。VC長野はリヴァン、戸嶋を軸に踏みとどまるも、大分三好は川口が要所で攻撃を決める。終盤、またしても大分三好・山田の緩急をつけたサーブが連続で決まり、最後は山田のバックアタックが炸裂。大分三好は昨日の雪辱を果たし、ホーム最終戦で嬉しい勝利をもぎ取った。

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット
監督コメント		第2セット
		第3セット
		第4セット
		第5セット
要約レポート		監督コメント

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット
監督コメント		第2セット
		第3セット
		第4セット
		第5セット
要約レポート		監督コメント

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット
監督コメント		第2セット
		第3セット
		第4セット
		第5セット
要約レポート		監督コメント

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット
監督コメント		第2セット
		第3セット
		第4セット
		第5セット
要約レポート		監督コメント

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット
監督コメント		第2セット
		第3セット
		第4セット
		第5セット
要約レポート		監督コメント

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。